

2019年3月12日

ジャカルタジャパンクラブ
会員各位

ジャカルタジャパンクラブ
海外邦人安全対策連絡協議会

1-1. 安東総括公使冒頭挨拶

大統領選挙では、第2回討論会会場付近で、爆竹か爆弾か分からないような爆発事件があったが、比較的平穏に進んでいる。これから投票日に向けて、熱を帯びていくと思われるため、情勢については注意が必要である。

2. 最近の政治・治安情勢（武田書記官）

大統領選が近づいているが、警察の取締りも厳しいためか、大きな事件や事故は発生していない。テロなどの動きは抑えられている。しかしながら、大統領選に向けて、不穏な動きもあり、第2回討論会会場付近で爆発音がある事件があった。爆発は木の根が飛ぶほどの威力のため、爆竹などの規模ではない。

大統領選の間近で起きた事件なので、セキュリティインシデントであるが、メディアなども平静を保っている。本来ならば、大騒ぎをする事件と考えるが、どのメディアも軽く触れる程度の扱い。警察も事を荒立てないように動いている感じがする。不可解な事件である。同様の事案も起きる可能性有。直近では、副大統領の討論会があるが、同様の事件がある可能性がある。十分に警戒するようにしてほしい。

3. 邦人に関わる最近の事件・事故報告（佐藤書記官）

1) 2月1日に邦人が被害に遭う置引きが発生。場所はセントラルモール内のスタバ。被害者は、スマホの操作に気をとられていたところ、犯人に足元のカバンを窃取。犯人は3人組で、1人はスマホで話しているふりをして足でカバンをかきだし、そのかきだしたカバンをもう1人が窃取。もう1人は店員に気がつかれないよう店員の目を引いていた。

この事件はグループでの犯行のため注意が必要。犯人はまだ捕まっていない。

犯人はビジネスマンを装ってスーツを着るなど巧妙になっていることに加え、3、4月は各社とも異動の時期なので注意喚起をお願いしたい。

補足

本事件は、邦人同士で向き合っていて交渉していた最中に発生した。自分の視野に入らない場所にカバンを置いてしまったため、死角になったことが原因で、窃取に気がつかなかった。基本的にカバンなどは目に付く場所に置く、足で挟むなど対策が必要である。

2) 3月末のMRT 開通について、大使館にも安全かどうかなどの問合せが多いが、実際に動き始めないと分からない。MRT は日本の技術による公共交通機関のため、走行などの安全性は高いと思うが、車内の安全性については現時点では分からない。

大使館としては、トランスジャカルタのバス内でのスリなどの被害が多かったため、公共交通機関は利用を控えるように依頼していた。

現時点では、安全が担保出来る自家用車での移動を推奨したい。

3) 選挙に伴うデモや集会は発生していないが、金曜日の礼拝後は、集会が散見される。選挙が近づくにつれ、集会などが多くなることが予想されるため注意が必要。

領事部

第25回参議院議員通常選挙が今年の夏に行われる予定。大使館・総領事館で投票するためには在外選挙人名簿への登録が必要。申請は同居家族の代理申請も可能。2018年6月1日から、海外赴任にあたり市区町村から国外への転出届を出す際に、当該市区町村の窓口でも「出国時申請」ができるようになった。当地到着後、大使館に在留届をオンラインまたは紙媒体で提出することで、3ヶ月の居住要件が無くなり所要期間の短縮になる。

今期通常国会が1月28日から始まっており、6月26日が会期末になる予定だが、会期延長が無ければ、日本では7月4日公示、7月21日に投開票が行われることが有力視されている。その場合、大使館での投票期間は公示翌日の7月5日(金)から7月15日(月)までの予定。「在外選挙人証」取得については概ね2か月から3か月要するので早めの申請をお願いしたい。

「在外選挙人証」を持つと、在外公館であれば、居住国に加え、出張や旅行先などの在外公館でも投票できる。一時帰国の際の投票、期間前投票、不在者投票も行える。詳細は大使館のホームページにおける領事の在外選挙のページで確認してほしい。

大使館では、本件は、松永書記官が担当する。

補欠選挙について補足

4月に補欠選挙があるが、対象は沖縄県と大阪府。4月10日に在外公館投票を行う予定。詳細は追ってメールで送付予定。

4. 最近の医療情報(堀田医務官(広州より短期出張))

3月6日付領事メールでポリオの発生状況ならびに追加の予防接種を案内したが、実は、WHOが緊急事態宣言を出した背景は、WHOの思惑もある。それは、WHOが決めたポリオ根絶に向けたロードマップに間に合わないため、WHOは焦って緊急事態宣言を出した。WHOは緊急事態宣言を出すものの、各国に対しての強制力が無い。

実際に、インドネシアでもパプア州でポリオは発生している。ポリオは小児麻痺という疾患

で5歳以下に罹患し、麻痺が残ることがある。成人でも罹患することもあり、稀に亡くなる方もいるが、実際には90%以上が不顕性感染（感染するが発症しない）病気。

日本人は、2012年以前は経口生ポリオワクチンの2回投与によりポリオ抗体の免疫獲得をしていた。2012年からは注射型の不活化ワクチンになり、4回接種となった。

しかし、海外と比較すると、海外は3～4回の予防接種が基本だが、日本人は2回のみを経口型ポリオのため罹患する可能性がある。そのため、外務省からも追加予防接種の勧告を出している。

インドネシアでもパプア州で生ワクチン由来のポリオが発症している。パプア州でも生ワクチンを子供に与えたことによってポリオが発生したという見解。

WHOが注意喚起すると日本政府としても対応せざるを得ない。接種しなければいけないということではなく、予防接種を検討して欲しいというメッセージ。パプア州などに行く方は、注意が必要なため、必要に応じて予防接種するべきである。ポリオの予防接種は、追加接種すればするほど免疫力は上がる。

1点懸念があり、国によってはインドネシアから入国しようとした場合、ポリオを予防接種したか否かで、入国を制限される可能性がある。入国制限は国の保健省の対応によって異なるため、注意が必要。

インドネシア国内に蔓延までいたっていない。

安藤総括公使

感染はどのような経路か？

→主な感染経路は、糞便中のウイルスが口の中に入ることによる感染で、汚物を処理した手からの経口感染が中心だが、飛まつ感染もある。

不顕性感染は、罹るけれども症状が出ないこと。パプアの場合は、90%以上症状が出ないが、1年以上は腹部内で増殖するため注意が必要。症状に出るのは5%程度。幼い子に症状が出やすい。

岩井委員

日本人の予防は分かったが、インドネシア人も同様に幼少期に予防接種しているという解釈でよろしいか？スタッフは既に免疫が出来ているか？

→インドネシア政府とWHOが共同して国内を回っている。インドネシア人でも一般的に3回程度の予防接種をしている。しかし、今回のパプアで発生しているポリオは形が違う。

佐藤委員

2012年以前は経口型生ワクチンが中心で、それ以降は予防接種型になったとのことだが、駐在員の年代は生ワクチンの接種をうけていると解釈してよいか。

→都道府県、市区町村の自治体で際にはドロップ式が中心であった。しかし、都道府県によって方法が異なる。駐在者の年代は、大体経口ワクチンという解釈である。免疫力は下がっている可能性があるため追加接種が望ましい。

各社からの報告

杉山委員

本社にはどのように相談すべきか？基本的には予防接種は打った方が良いのか？

→予防接種は罹患するものの安全性はある。しかし、予防接種なので副作用はあることも注意。もし接種できるのであれば打った方が望ましい。何度打っても問題のないワクチンである。インドネシア国内にも注射ワクチンがある。

竹本委員

1-1) 最近、デング熱が流行しているという話をよく耳にするが、わが社駐在員が「チクングニア熱」という病気にかかった。日本に一時帰国中に発症した為、隔離病棟に入院中。デング熱同様に、蚊が媒体する病気で高熱、全身のだるさがある。

→チクングニア熱には治療方法が無い為、対処療法として点滴などで対応する。
バンドンではデング熱に関して報告をよく耳にするので、注意が必要。

1-2) 今後、大統領選挙キャンペーンが激しくなる時期に当たり、危機管理上、様々な事態を想定して備える必要があると考えている。一つのベンチマークとして、5年前の大統領選挙時の状況を踏まえて、どのように対応するのが良いのか、過去の事例から学べるものがあれば教えてもらいたい。

→領事メールにて注意喚起を行っている。これから盛り上がる時期になるため、報道などに注意してもらいたい。

義尾委員

→5年前の大統領選挙では、土日はスディルマン通りや広場にバスが大挙して来ていた。午前中からバスが押し寄せ、前にも後ろにも進めない状況があった。非常に混雑した。

義尾委員

1) 工業団地周辺の企業では、防災対策について準備している企業が増えている。本協議会

での情報発信の効果が出ているのでは無いか。防災対策は、各企業で特色がある。連絡経路や連絡網も構築している。

(帰任挨拶)

袖岡委員

4月6日に本帰国。5年半の駐在員生活。本会合は有意義な会合である。川村氏が後任。

水本委員

4月1日に本帰国。丸5年の駐在であったが、本会合は有益な情報交換の場となったと思う。谷垣氏が後任。

小澤委員

3月末に本帰国。本会合は、報道されない情報を共有していただいた。荻田氏が後任。

又平領事部長

3月29日に本帰国。2年11ヶ月の駐在。邦人が大規模な事件・事故に遭わなかったのは邦人の安全への意識の高さからだと思料する。本会合は、情報交換・意見交換の場として非常に有益。何も無いことを報告することも大事である。

後任は4月に着任予定。

(領事部からの報告)

大使館の駐車場を工事しており、帰り際には少し時間を要する可能性が有るためご容赦願いたい。

次回は、4月9日(火) 11:00～

(以上)